

### 防災研修会について

この2月、国の地震調査委員会は、南海トラフ地震の30年以内の発生確率が、「70～80%」に高まったと発表しました。

これまでの最大で「70%」の発生確率から、最大で「80%」に引き上げられましたが、このことは、次の地震に少しずつ近づいていること、南海トラフ地震がいつおきてもおかしくない、という状況ではなかろうかと思えます。

このため、なんぐん館では主任会を中心として、防災研修会を企画し、次のとおり救援路を実際に歩くことや非常用発電機の起動訓練などを行いました。

○防災研修会の実施状況（H30.6.15現在）

項目	内容	参加者数 (実施回数)
愛南町津波浸水シュミレーション動画の上映	愛南町が作成した津波浸水シュミレーション動画（御荘地区）の上映や、非常災害時のなんぐん館の備蓄品等の状況について研修しました。	延べ95名 (4回実施)
救援路の歩行訓練	なんぐん館では、南海トラフ地震等大規模災害の発生時には、唯一の救援ルートである県道猿鳴平城線が被災し、使えなくなる恐れがあることから、代替えの救援路を確保しています。	延べ94名 (9回実施)
非常用発電機の起動訓練	地震等による停電時に使用する非常用発電機（6台保有）を、職員はだれでも使えるように、起動訓練を行いました。	延べ94名 (5回実施)



津波動画の上映



救援路の歩行訓練



発電機の起動訓練



非常用備蓄品



避難訓練



避難訓練

第21回  
うんどうかい

紙風船が飛ぶよ～

よ～いどん

マイルマイル